



北高生のみなさん、こんにちは。安田女子大学心理学部心理学科1年の平野栄里奈です。昨年の5月に「合格体験記」を書かせて頂きました。八幡先生から「授業・大学生活・オスメのポイント等あれば教えていただけると、後輩たちは喜ぶと思います。新しい学部がどんどんできていて、今注目の大学ですから。」というメッセージをいただきましたので、私が思う安田女子大学の魅力についてみなさんにお届けしたいと思います。

1. 自分の視野を広げられる授業内容

安田女子大学では、専門科目の授業が1年生の前期から始まります。心理学の授業には様々なものがあります。例えば、人間の心の仕組みや行動に隠された真実を学ぶ授業や、実験や心理テストを通して、周りの人間や自分の思考や行動の癖を見つける演習などがあります。私は、社会の仕組みが人間の心の動きによって働いていることや、幼少期の経験や家族とのかかわり方が人格形成につながっていることを学ぶ授業内容に特に興味を持ちました。私は1年間心理学を学んで、色々な視点から物事を見つめることの大切さと人間が生活する日々において本当にたくさんの物事から刺激を受けていることを知りました。

安田女子大学では、専門科目に加えて「全学共通教育科目」が166科目あります。女子大学として日本最大の文理7学部数が集まった安田女子大学だからこそ出来る学びです。今までとは違って、大学では自分で時間割を決めることが出来ます。本当にたくさんの授業があるので、何の授業を取ろうかと悩むほどです。自分の専門科目だけでなく、他の様々な領域を学ぶことが出来ます。

1年生の時には外国語科目が「コミュニケーション」、「リーディング」と週に2コマ入っていました。基本的に英語ですが、それに加えてフランス語や中国語を学ぶことも出来ます。英語の授業内容はTOEICの演習などです。授業中に電子辞書を使う人が多かったですが、私は北高の時から使っている紙辞書を持ち歩き、調べた単語にはマーカーを引くことを続けていました。教科書の予習も八幡先生からの教えを忘れることなく、「キーワード」を見つけるとのことと、意味の知らない単語を洗い出すという作業を続けていました。すると先生から「こんなところまで調べてあって凄いね。良い予習の仕方だよ。」と褒めていただきました。やっぱり八幡先生の勉強方法は間違っていないと改めて思いました。英



語だけに限らないですが、今みなさんが必死に努力していることが大学で繋がりますから、自分を信じて続けてくださいね。

テスト期間は大学の中の雰囲気が一変します。普段憩いの場所になっているフリー・スペースや食堂は、空いている机が無いほど勉強している人でいっぱいになります。もちろん 1 人で黙々と机に向かっている人もいれば、友達グループで教え合いながらテスト勉強に取り組んでいる人たちもいます。他の学部知らない人でも、頑張っている姿を見ると、「自分も頑張らなくちゃ」と思えて、良い刺激になっています。しかし、高校の時よりもテスト期間が長いし教科も多いため、計画的に勉強していかないとあとから大変なことになりますし、途中で集中力が切れやすいので注意が必要です。

参考に 1 年の時の私の前期・後期の時間割を載せておきます。

前期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 時限	生命の科学 B		臨床心理学 I	心理学方法論	
2 時限	現代社会と人間 B		情報処理基礎 I		情報処理基礎 II
3 時限	国際協力 A	人間学 I	英語コミュニケーション I	まほろば教養ゼミ	英語リーディング I
4 時限	キャリアデザイン	心理学概論 I	社会心理学 I		
5 時限					



後期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 時限	人間論 B	臨床心理学Ⅱ	調査概論		発達心理学Ⅰ (中・高)
2 時限	21 世紀の社会と 法 B	日本史概説	情報処理基礎Ⅲ		情報処理基礎Ⅳ
3 時限	心の科学 B		英語コミュニケーションⅡ	まほろば教養ゼミ	英語リーディングⅡ
4 時限	異文化理解 A	心理学基礎演習Ⅰ	心理学概論Ⅱ		
5 時限					

2. 大学は自分を変えるチャンスで溢れている有意義な空間

高校にもたくさんの方がいましたが、大学にはもっとたくさんの方がいます。また色々な考えを持っている人に出会います。もちろん自分の考え方や近い人もいれば、自分の考え方や真反対の人もいます。そんな考え方もあるのだと良い意味、悪い意味で思うこともあります。考え方の違いで衝突したこともあります。勉強に対する意識も人それぞれです。正直、授業を受けている人みんなが集中しているとは限りません。課題への取り組みも人によってさまざまなのだと感じました。せっかく大学に来てまで興味のある学問を学ぶのですから、自分が本当に活かせるものにしたいですね。色々な人と出会って自分の考え方が少し変わっていくことや、視野が広がることなど、自分自身の心が成長するチャンスが大学生活にはたくさんあると思います。

大学生活では自分の時間の使い方で色々なことが出来ます。この 1 年間の大学生活はとても充実していました。大学生活には自分の興味のあることに挑戦する十分な時間があります。そんな大学生活を想像しただけでワクワクしてきませんか？大学生活を楽しむために、北高生活を全力で走り抜けてきたのだと今なら納得出来ます。



3. 安田女子大学ならではの魅力

安田女子大学では高校の時と同じように、クラスに所属します。担任いわゆるチューターが決められているため、学習面から生活面全般まで、一人一人に合わせたサポートを行ってもらえます。大学の先生も色々な方がいらっしやり、授業で分からなかったところを聞くためやおしゃべりするために先生の研究室に行くのはとても楽しいです。

1976年から40年以上続いているオリエンテーションセミナー（通称：オリゼミ）という伝統行事があります。毎年5月に新入生を対象に、広島県江田島市または島根県大田市の研修施設で2泊3日のグループ研修を行うという内容です。同じ学科の中でクラスに関係無くいくつかのグループに分けられ、それぞれ3人の先輩がグループのサポートをしてくださいます。研修といっても難しいものではなく、例えば、先輩と後輩が語り合う座談会や自然と触れ合う野外活動などです。私もオリゼミを通してたくさんの友達が出来、同じ学科の先輩から大学生活を満喫するヒントを教えていただきました。たくさんの経験と出会いがあり、本当に充実した行事です。

そしてなんといっても、大学施設がとても整っていることが安田女子大学の魅力です。キャンパス内は広く、校舎が綺麗で、図書館にはたくさんの本があり、勉強できるスペースも多く設けてあるなど、学習環境が整っています。また、美味しくて学生のお財布に優しいメニューでいっぱい食堂や、スイーツからカフェラテなどのドリンクまでメニューも充実しているカフェもあります。魅力のある場所がたくさんで、1年経っても全然飽きることはありません。安田女子大学には充実したキャンパスライフが送れる環境が整っています。大学祭などのイベントがある時は男性も大学内に入れるので、自分の目で確かめてみたい方はぜひイベントがある際お越しくださいね。

4. 心理学部2学科体制へ

現在心理学部は、「心理学科」の1学科ですが、今年の4月から心理学部は「現代心理学科」と「ビジネス心理学科」の2学科体制になります。

現代心理学科は、心理学の専門知識と方法を学び、人の心を深く理解する能力を育てる



ことを目的としています。そのために、「発達・教育」「臨床」「社会・人間」という3つの領域をバランス良く学修します。心の問題を解決して支援していく方法を演習や実習などを通じて、実践的に学びます。目指せるキャリア像としては、カウンセラー、養護教諭、中高教諭（社会・公民）、公務員、その他、金融をはじめ、民間企業など様々な進路が考えられます。また、大学院に進学することによって、「臨床心理士」の資格や心理領域で初の国家資格である「公認心理師」の受験資格の取得が可能です。

一方、ビジネス心理学科では、心理学を基礎に社会学や経営に関する知識を得て、組織や社会の中での心理作用を学び、ビジネスの現場で実践的に生かせる力を育てることを目的としています。人の行動と心の動きを科学的に解明する方法や私たちを取り巻く社会の仕組みを学びます。目指せるキャリア像としては、宣伝、広報、企画、調査、商品開発、サービス、営業職、その他、人材育成や採用を行う人事や公務員など、様々な進路が考えられます。

これら2つの心理学部のこれからの歩みとともに、近年重要視されている「心理学」がこれからどのように発展していくのか楽しみです。

4. 終わりに

1年間安田女子大学で過ごしてきましたが、色々な人との出会いがあり、たくさんの良い経験が出来て、とても充実した1年間でした。今学んでいる「心理学」が自分に合っている分野だと実感しています。この大学に通うことが出来て、本当に良かったと思っています。大学では、自分自身がたくさんの人と出会える機会を大切にすること、勉強に対する意欲や有効に使える時間をどれだけ自分のものにできるかが大切だと思います。大学で過ごす時間はみなさんが思っているよりも早く過ぎます。大学生活を充実したものにできるかは自分次第です。自分の学びたいことが大学で学べるように、今北高でできることを全力で頑張ってくださいね。